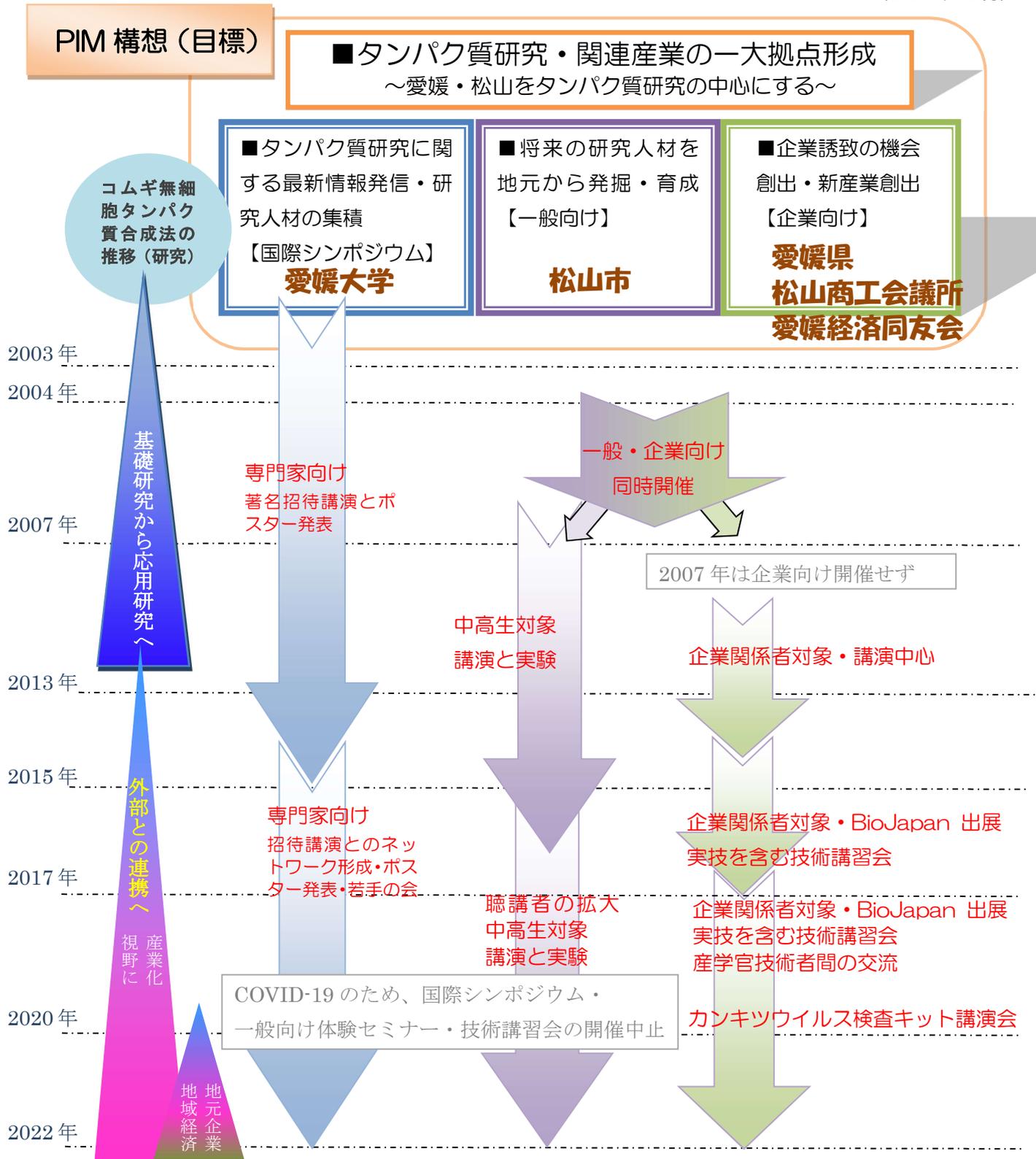


PIM 主催 5 団体の役割分担と
PIM 構想実現に向けた これまでの取り組み

(2020 年 12 月)



2003年から2012年の10年間で、基礎研究から応用研究への広がりが実感できました。2013年には、ステージの変化に合わせて、よりスピーディーな動きを可能にするため、PIM組織もスリム化し、企業との関係ができてきました。その結果、2014年には、製薬企業等など特定の業種ではありますが、緊密な連携が生まれ始めています。2015年からは技術講習会を通じて無細胞系を利用する企業が着実に増加しています。一方研究ステージも応用研究から進み産業化も視野に入ってきました。愛媛・松山に来れば、タンパク質研究に関してはどうにかなる、との認識はできました。この“種”をどのように生かしていくか、今後の5団体それぞれの取り組みにかかっています。